

<テーマ>

色の4原色(青、赤、緑、黄色)

春夏秋冬 そして、その時期に咲く、色の花とその花言葉からヒントを得てます。

メインの登場人物

■お花の主人公

■4つの花(青ラベンダー、黄ハイビスカス、赤サルビア、緑フキ)

■そしてひまわり

<ざっとあらすじ >

孤独で内気な主人公の花が自分の置かれた状況、人生を悲観し、他人に憧れをもちながら必死にじっと我慢して日々を生き抜いていました。

その花は、決してなれることのない、憧れの花たちを思い浮かべ、空想します。

主人公のお花が憧れる花と、それぞれの花言葉

青：ラベンダー=来る幸せをを待ちながら →春の花

赤：ハイビスカス=華やか →夏の花

黄：サルビア=家族愛 →秋の花

緑：フキ=困った人に寄り添う→冬の花

しかし現実には、孤独。

孤独な悲しみと共にやがて雨が降り始め、寒い夜が訪れます。

雨は恵みの雨。寒い季節は暖かい季節の始まり。

ふと、主人公と同じような孤独な犬が、そんな内気な花を気に入り寄り添い眠りにつく のでした。

それから数年後、花は、ハイビスカスに負けない、黄色い豪華なお花となりました、フキのように自分を好いてくれる犬に寄り添われ、サルビアのように愛されながらながら、ラベンダーのように、幸せに生きるのでした。

-----ストーリー-----

ある所に、一輪の小さな花が咲いていました。

決して目立つわけでもなく、決して美しいわけでもない、どこにでも咲いていそうなただ1輪の花でした。

花は、広い世界のこの場所にポツリと咲いて、じっとひとりで生きて来ました。

ある時は、日差しの中の太陽に照らされながら。

ある時は、寒い雪に埋もれながら。

ある時は、強い風に吹き付けられながら。

それでも必死に必死に、「イマ」を生きてきました。

「もしも、私が。。。」

ひとりぼっちの花はふと想像します。

もしも、私が北の大地に咲くラベンダーだったなら、春には丘いっぱい、青色のお花を咲かせて、幸せが来るのを待つというのに。

もしも、私が南国に咲くハイビスカスだったなら、夏に黄色い豪華なお花を咲かせて、勇ましく華やかな人生を送るのに。

もしも、私が地球の裏側に咲くサルビアだったなら、秋に真っ赤な花びらの仲間たちに囲まれて、愛されながら生きるのに。

もしも私が寒い国に咲くフキならば、冬でも愛嬌振りまいて、誰かのそばにそっと寄り添うのに。

ああ、もしも、もしも私が今よりもっと綺麗な花に生まれていたのなら、きっと花として素敵な人生を送っていたのに。

だけど、今の私の姿は、

綺麗でもない、華やかでもない、愛嬌もない、ただの孤独な花。

「次は、もっとたくさんの人が羨ましがるくらい素敵な花に生まれますように。」

さっきまで明るかった空は、やがて真っ暗闇に包まれました。

ふと急に、悲しい気持ちが襲ってきます。

悲しい気持ちを表すかのように空は雨模様。

雨は、どんどんどん強く振りつけます。

「こんな雨はよくあること。だってどんなに辛い日も一人でじっと生きて来た。」

やがて夜も深くなります。今日は一段と冷え込みました。

「こんな寒さもよくあること。だってどんなに辛い夜も一人でじっと生きて来たから。」

おや?だけど、今日はどうやら一人じゃないようです。そっと、1匹の犬が近づいて来ました。

「あら、あなたもひとりぼっちなの?」

犬は、何も言わず、側に寄り添って来ました。暖かい、犬の温もり。

花はとても幸せな気持ちになりました。肌寒い夜、犬の暖かさはまるで、“陽だまり”を思い出すようです。

「そうだ!次に生まれ変わる時は、こんなふうに誰かの“陽だまり”になれるような花になりたい」

花は心からそう思いました。花と犬は静かに、長く深い眠りにつきました。

それから、しばらくして...夏の季節が訪れました。

外からは、子供達の元気な声が聞こえてきます。

「あれ、綺麗な花が咲いてるよ」「あれ、ワンちゃんも一緒だ!」「このお花を気に入っているのかなー」

外には、大きなひまわりが、誇らしそうに咲いていました。

犬とひまわりと子供の影が寄り添う姿で終わる。

<作品構成>

タイトル

ポツンと咲く地味な花

日差しの太陽に照らされ、
寒い雪に埋もれ、
風に吹き付けながら

健気に咲く花。

花の想像シーン

もしも、、、

春の季節とラベンダー=来る幸せをを待ちながら →春の花

夏の季節とハイビスカス=華やか

秋の季節とサルビア=家族愛

冬の季節とフキ：=困った人に寄り添う

現実は孤独

寂しくて空を見上げると雨模様

じっと耐える花

じっと耐え続ける花

夜になり、やがて一人ぼっちの犬がやってきて花に寄り添う

朝になり光が差し込み、男の子が犬と花を見つける

寄り添う花と犬と男の子の影で終わる。